

温室効果ガス排出状況報告書(1)

1 地球温暖化対策事業者等の概要

(1) 地球温暖化対策事業者等の氏名等

地球温暖化対策事業者等の氏名 (法人にあつては名称及び代表者又は管理者の氏名)	学校法人渡辺学園 理事長 清水 司
地球温暖化対策事業者等の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都板橋区加賀一丁目18-1

(2) 事業所の概要

事業所の名称		学校法人渡辺学園 (東京家政大学 板橋校舎)		
事業所の所在地		東京都板橋区加賀一丁目18-1		
業種等	事業の業種	分類番号	076 0:教育、学習支援業 ▼ 学校教育 ▼	
		産業分類名	学校教育	
	事業所の種類	主たる用途	※部門分類	<input type="radio"/> 産業 <input checked="" type="radio"/> 業務
				<input type="radio"/> 工場 <input type="radio"/> 熱供給施設 <input type="radio"/> 上水道・下水道施設 <input type="radio"/> 廃棄物処理施設
			<input type="radio"/> 事務所 <input type="radio"/> 商業施設 <input type="radio"/> 宿泊施設 <input checked="" type="radio"/> 教育施設	
		<input type="radio"/> 医療施設 <input type="radio"/> 文化施設		
		<input type="radio"/> その他 ()		
	建物の使用形態	<input type="checkbox"/> テナントビル等に該当		
事業の概要		敷地内に、大学、大学院、短大、高校、中学、幼稚園があり、教育・研究のための大小の施設を多数設置している。 平成18年度は ・敷地面積については、隣接の土地を購入したため、大幅に増加 74,046→90,362 ・延べ床面積については、1号館が増築になり、木造校舎数棟を解体し1.2%増 ・狭山校舎から板橋校舎へ学生・教職員が転入し、約800名(約13%)増加し		
主なテナント事業者等の概要 (テナントビル等の場合に記載)		(1) テナント事業者等の名称		
		(2) テナント事業者等の名称		
		(3) テナント事業者等の名称		
敷地面積		90,362	m ²	
建物の延べ面積		83,754	m ²	

(3) 担当部署

計画の担当部署	名称	財務部 財務課	
	連絡先	電話番号	03-3961-1848
		ファクシミリ番号	03-3962-7135
		電子メールアドレス	otsukay@tokyo-kasei.ac.jp
公表の担当部署	名称	財務部 財務課	
	連絡先	電話番号	03-3961-1848
		ファクシミリ番号	03-3962-7135
		電子メールアドレス	otsukay@tokyo-kasei.ac.jp

その2

(4) 排出状況報告書の公表方法

公表期間	平成19年1月1日 ~ 平成20年6月30日	
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:
	<input checked="" type="checkbox"/> 窓口で閲覧	閲覧場所: 財務部 管財課
		所在地: 東京都板橋区加賀一丁目18-1
		閲覧可能時間: 10:00~16:00
	<input type="checkbox"/> 冊子	冊子名:
	入手方法:	
	<input type="checkbox"/> その他	

2 計画期間

18 年度 ~ 22 年度

3 温室効果ガスの総排出量の状況

(1) 前年度の温室効果ガスの総排出量

単位:t(二酸化炭素換算)

CO ₂	CH ₄	N ₂ O	HFC	PFC	SF ₆	合計
3,662	22	3	0	0	0	3,687

(2) 総基準排出量及び前年度までの温室効果ガスの総排出量の推移

(単位:t(二酸化炭素換算))

	基準排出量	第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度
総排出量	3,531	3,687	/	/	/	/
基準排出量 比増減率	/	-4%	/	/	/	/

4 工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの排出の状況及び排出抑制に係る措置の進捗状況(総括)

(1) 温室効果ガスの排出の量

(前年度: 18 年度)

ア 前年度の温室効果ガスの排出の量

単位:t(二酸化炭素換算)

CO ₂	CH ₄	N ₂ O	HFC	PFC	SF ₆	合計
3,662	22	3	0	0	0	3,687

イ 前年度の建物の延べ面積当たりの温室効果ガスの排出の量の状況等(業務部門に該当する場合のみ記載)

建物の延べ面積当たりの温室効果ガスの排出の量	44.0 kg/m ² ・年
建物の延べ面積当たりのエネルギー消費量	980 MJ/m ² ・年

ウ 基準排出量及び前年度までの温室効果ガスの排出の量の推移

単位:t(二酸化炭素換算)

	基準排出量	第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度
排出量	3,531	3,687	/	/	/	/
基準排出量 比増減率	/	-4%	/	/	/	/

(2) 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の進捗状況

対策分類ごとの措置の進捗状況(実施の有無)	基本対策	<input type="radio"/> すべて完了	<input checked="" type="radio"/> 一部完了	<input type="radio"/> 未実施	<input type="radio"/> 計画なし
	うち、運用対策	<input checked="" type="radio"/> すべて実施	<input type="radio"/> 一部実施	<input type="radio"/> 未実施	<input type="radio"/> 計画なし
	目標対策	<input type="radio"/> すべて完了	<input checked="" type="radio"/> 一部完了	<input type="radio"/> 未実施	<input type="radio"/> 計画なし

目標対策による削減実績	推計実績削減量(目標対策分)	27 t-CO ₂
	推計実績削減率(目標対策分)	0.7%
目標削減率		2.5%

その3

5 自動車等に係る温室効果ガスの排出の状況及び排出抑制に係る措置の進捗状況(総括)

(1) 温室効果ガスの排出の量

ア 前年度の温室効果ガスの排出の量

単位:t(二酸化炭素換算)

CO ₂	CH ₄	N ₂ O	HFC	PFC	SF ₆	合計
0	0	0	0			0

イ 基準排出量及び前年度までの温室効果ガスの排出の量の推移

単位:t(二酸化炭素換算)

	基準排出量	第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度
排出量	0	0				
基準排出量 比増減率						

(2) 温室効果ガス排出の抑制に係る措置の進捗状況

排出の抑制に係る措置の進捗状況	<input type="radio"/> すべて完了 <input type="radio"/> 一部完了 <input type="radio"/> 未実施 <input checked="" type="radio"/> 計画なし
-----------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の進捗状況等についての総括等

地球温暖化の対策については、ほぼ計画通り進んでいる。

しかしながら、

- ・校舎延床面積が約1.2%増加した(単位面積当たりのエネルギー使用量は0.5%減)
- ・狭山校舎から板橋校舎へ学生・教職員が移り約800名(+13%)増加した

二酸化炭素排出量については基準年度に比べ4%増という結果ではあるが、人数の増加率に比べ、二酸化炭素の増加率は少なく、延床面積当たりのエネルギー使用量が減少しているため、温暖化防止の対策が一定の効果を発揮したと考えている。

自動車については、乗用の車輦はハイブリッドの公用車が1台あるだけであったが、昨年廃止した。そのため、当学園では幼稚園の送迎バスも含め、学園内で使用している乗用の車輦が1台もない。現在の車輦は、狭山校舎との書類資材運搬用(主として狭山で使用)のワンボックス1台、キャンパス内で給食等の運搬に用いる軽自動車1台、ゴミなどの運搬に用いる充電式のターレット2台のみである。

(当年度以降の取組方針)

現在、従来の敷地内に校舎を増築中であり、また購入したばかりの敷地に今後校舎を建設する予定である。

なるべく、環境に配慮した建物とし、校舎面積増加による二酸化炭素排出量やエネルギー使用量の増加を最小限度に食い止めたいと考えている。

自動車については、工事や大型・大量の物品納入を除き、学生・教職員は徒歩や公共交通機関を利用している。

今後とも公共交通機関の利用を周知徹底していく予定である。